

気象庁

項目	平成23年度の目標（概要）
<p>○的確な観測・監視及び気象情報の充実等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>台風による被害の軽減を図るため、台風中心位置の72時間先の予報誤差（前5年の平均）を、平成22年の302kmから平成27年までに260kmにする。</u> ・ <u>津波による被害を軽減するため、地震発生後10分以内に津波が来週することのある沿岸から100km以内で発生する地震に対して、地震発生から地震津波情報発表までに要する時間を平成23年度までに3分以内とする（値は前3年間の平均）。</u> ・ <u>内海・内湾における沿岸防災、海運・漁業の安全を図るため、きめ細かい高潮・高波の予測を適用する海域を平成23年度までに7海域以上とする。</u>
<p>○気象業務に関する研究開発の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>より高精度の防災気象情報等を発表するため、地球全体の大気を対象とした数値予報モデルの2日後の予測誤差を、平成27年末までに平成22年（実績値14.8m）に比べ約20%改善する（目標値12m）。</u>